

■関連イベント

記念講演会 「木村毅の生涯と歴史的背景」

2 / 22

S A T

講師：保阪正康先生

時間：10：30～11：30

会場：勝央美術文学館

参加料金：本展の入場券が必要

定員：30名（事前申込優先）

申込・問合せ先：勝央美術文学館

Tel. 0868-38-0270

E-mail：shoomuse@town.shoo.okayama.jp

申込受付期間：1/22（水）～2/20（木）10時～18時 ※ただし受付期間中の月曜日は休館

メールの場合は件名に「木村展講演会参加申込」本文に①参加者名②電話番号をご入力ください

リモートによる
講演です。



木村毅青年時代



保阪 正康（ほさか まさやす）

ノンフィクション作家・評論家

日本ペンクラブの会員。「昭和史を語り継ぐ会」を主宰。主に日本近代史（とくに昭和史）の事象、事件、人物に題材を求め、延べ4,000人余の人びとに聞き書きを行い、ノンフィクション、評論、評伝などの分野の作品を発表している。

また、「医学・医療と社会の関係」をテーマにした作品や教育に関する著作も多い。

立教大学社会学部兼任講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを歴任。現在、朝日新聞書評委員などを務める。

主要作品に、『昭和陸軍の研究（上下）』（朝日新聞社）『吉田茂という逆説』『秩父宮』『幻の終戦』（以上、中央公論新社）『東條英機と天皇の時代』『戦場体験者・沈黙の記録』（以上、筑摩書房）『瀬島龍三（ある参謀の昭和史）』『後藤田正晴（異色官僚政治家の軌跡）』（以上、文藝春秋）『昭和史がわかる55のポイント』（PHP研究所）などのほか、『安楽死と尊厳死』（以上、講談社現代新書）『大学医学部』『大学医学部の危機』『医療崩壊』（以上、講談社）『医学・医療界の内幕』（朝日文庫）『実学と虚学』『昭和史七つの謎』（講談社文庫）『昭和史七つの謎 part 2』（講談社）『あの戦争は何だったのか』（新潮新書）、『愛する人を喪ったあなたへ』（朝日新聞出版）『昭和天皇』（中央公論新社）など多数。一連の昭和史研究で、2004年に菊池寛賞を受賞。

『ナショナリズムの昭和』（2016年11月25日刊 幻戯書房）で、第30回（2017年度）和辻哲郎文化賞受賞。第72回（2018年度）北海道新聞文化賞（学術部門）受賞。『石橋湛山の65日』で第1回（2022年度）石橋湛山和平賞。近著には『平成の天皇皇后両陛下大いに語る』（文藝春秋）、『戦時下の政治家は国民に何を語ったか』（NHK出版）などがある。現在、月刊文藝春秋で「日本の地下水脈」連載中。ラジオ出演 月曜「カルチャーラジオ 保阪正康が語る昭和人物史」（NHK）